

## 農地維持と保全に新しい取り組み



パワーショベルのバケットできれいに成型されていく(平成28年12月)

平成27年4月に、現在取り組んでいる農地維持、施設長寿命化の事業が法律に基づく多面的機能支払交付金事業となりました。

八方原の環境を守る会では、平成28年度の大きな取り組みとして排水路の肩にあたる畦部の再形成を実施しました。長年にわたる泥上げ、草刈りの積み重ねでこぼこの蒲鉾状態になっているものを、建設機械で成型しなおしたのです。

施設の長寿命化として、話し合いの結果、実験的に取り組むことになったのです。今回は大森水路の両側合計約900メートルの成型を行いました。この成型が畦部の管理に有効であることがはつきりすれば、次年度以降、



草刈りの負担を軽減するのが目的

年次的に各排水路を実施していければと、考えているところです。

また農道管理にグラウンドシートの敷設による雑草抑制にも取り組んでいます。これも慎重に経過を見守る必要があります。今年度一年間、皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

グラウンドシートを固定するにはどうしたらいいのか。1月に作業を行い、農道法面の雑草を防ぐために設置したシートは折からの北風でめくれ上がっていました。既製品の留め具は少しの風圧でも簡単に外れてしまうこ

### 激しい風圧に耐えるのは「これだ」



鉄製の螺旋杭、大小の二種類

とが分かりました。いくつか留め具を試して見ましたが、結果的にねじ込み式の「螺旋杭」がもっとも有効であることが分かりました。現在はこの杭を使って、シートの浮き上がりを抑えられるようになりました。



測量は経験がないとできない

### 僅かなズレも見逃さない オートレベルで測量

八方原農地の農業用水は樫野川からの汲み上げに頼っています。ポンプで汲み上げられた水は送水管で水路に送られます。その送水管の保全のために昨年より測量を行うようになりました。

本年度も3月6日に、全長180メートルの送水管を測量器具を用いて計測しま

した。方法は基準になる部分からの相対的な高さを計測します。もしも、地盤に何らかの動きがあれば、数値に変化がはズれますから、その部分をしっかりと調べる必要があります。昨年との比較では問題となるような箇所はありませんでした。施行から5年以上経過していますので、これからもしっかりと見守って参ります。

# 努力の積み重ね「コンクリートの匠」

日本経済新聞社は産業全般にわたり高度な情報を提供しています。なかでも日経BP社は専門的な業界紙や専門家のための書籍などを数多く出版しています。ある意味同社の書籍に掲載されれば業界一流の証明ともいえます。

本年3月に出版された「新設コンクリート革命」は土木コンクリートの品質管理に革命的な業績を上げた山口県とその関連業界の努力と成果が、詳細に述べられています。

同書によると、従来からコンクリー



インタビューの取材は2時間以上に及んだとのこと

トを打設した後のひび割れの責任はコンクリート会社、施工業者が互いに譲らない状況だったとのこと。そこで山口県の土木担当者はひび割れ抑制をするために詳細なデータの保存に取り組み始めました。

こうしたデータの取得には現場の協力が欠かせません。業者の中でも実績のある技術者を集めてコンクリートの成分構成、工事の際の気象条件、硬化までの管理方法などの詳細な記録を集めたのです。

その結果、ある程度理想に近いコンクリート打設のマニュアルの母体ができました。それを元に工事の際のチェックシートを作成、このチェックシートを使えば一定の品質が確保できるというレベルにまで水準を引き上げたのです。

その実証のための「試験施工」として山口宇部道路の工事が行われました。その陣頭指揮に当たったのは、この取り組みに当初から協力してこられた株式会社亀井組土木部長原田哲夫氏です。当会の副代表であり八方原自治会の役員としてなくてはならない

「てっちゃん」その人です。

同書の中では「コンクリートの匠」に聞くというインタビュー記事が掲載されています。その中で原田氏は「一生懸命に施工したものの、ひび割れによって施工業者の責任とされることへの疑問や、現場の作業員への要求などに難しさを感じていたけれど、試験施工という形で関係する業者、作業者全員が一緒に考え、行動することができるようになった」と話しています。また、「一見余分に見えるような工程や、

作業も高品質につながり、最終的にはコスト削減につながることを証明できた」とも話しています。

こうした官民共同で作りに上げたコンクリート打設のデータの積み上げは、全国でも稀に見る高品質なコンクリート構造物を生み出しています。同書によれば、今や東日本大震災からの復興工事に、その技術が生かされようとしているとのこと。

私たちの地域にこんな凄い人材がいることを誇りに思いたいですね。

## 平成29年度八方原自治会の役員が決定

平成29年度八方原自治会役員			
自治会長	原田 茂樹	老人会会計	原田 温子
公民館長	国重 正悟	地区宮総代	石田 義博
会計役	原田 哲夫	交通委員	末田 和宏
会計監査	矢部 彰	交通委員	杉山 良明
会計監査	本田 昇	子供会会長	末田 和宏
体育部長	佐々木康弘	子供会副会長	原田 成隆
体育副部長	菊本 恭子	母子保健推進員	青木 由紀
衛生部長	國田 宏	福祉委員	藤田恵美子
衛生副部長	中村 丈二	墓地管理委員	片山 静市
消防組組頭	佐々木康弘	防犯連絡員	田外 元明
消防組副組頭	中村 丈二	防火管理責任者	原田 哲夫
民生委員	黒瀬 克子	共同募金推進委員	自治会長
老人会会長	片山 静市	※網掛けが改選役職、太字が新任役員	

平成29年度の新任役員が決まりました。3月19日の定期総会で提案され、満場一致で承認されました。

新たに衛生副部長が置かれることと成りましました。衛生部の仕事量は非常に多く、毎月休み無く作業があります。その負担を少しでも軽減しようというものです。

今年一年、地区の舵取りをお願いします。